

## 学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、麻生外語観光&製菓専門学校为学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

# 学校関係者評価報告書

麻生外語観光&製菓専門学校

平成30年 9月 10日

校 長 竹口 伸一郎

自己点検・評価責任者

校長代行 下村 豪

### 目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 2 -
1. 学校関係者評価の目的	- 2 -
2. 学校関係者評価の基本方針	- 2 -
3. 学校関係者評価委員名簿	- 2 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時	- 2 -
5. 学校関係者評価方法	- 2 -
II. 学校関係者評価内容	- 3 -
基準 1 理念・目的	- 3 -
基準 2 教育の内容	- 3 -
基準 3 教育の実施体制	- 6 -
基準 4 教育目標の達成度	- 8 -
基準 5 学生支援	- 9 -
基準 6 学生募集・受け入れ	- 10 -
基準 7 社会的活動	- 11 -
基準 8 管理運営・財務（学校・グループ）	- 12 -
基準 10 改革・改善・情報提供	- 13 -

※基準9は評価対象外

平成29年度  
(2017年度)

# I. 学校関係者評価の概要と実施状況

## 1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生外語観光&製菓専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

## 2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

## 3. 学校関係者評価委員出席者

区分	氏名	所属
業界関係者	錦邊 千恵子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス3課
業界関係者	大内田 諭	同上 グランドサービス部 ラインハンドリング2課
業界関係者	小林 俊裕	日本通運株式会社 福岡支店 九州グローバルロジスティクス企画 次長
業界関係者	木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店主任
業界関係者	金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長
業界関係者	森山 光	株式会社アルク 福岡支店 支店長
業界関係者	能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長 (人材開発担当)
業界関係者	大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長
業界関係者	古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長
業界関係者	柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ
業界関係者	廣瀬 義幸	ペイ・バスク オーナーシェフ
業界関係者	細溝 亮太	株式会社JTB 福岡在中 人事チーム グループリーダー
業界関係者	安藤 大介	高見株式会社 九州営業部 部長
業界関係者	鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事、事務局長
業界関係者	山下 輝美朗	石村萬盛堂 製造本部新宮工場 工場長兼洋菓子部次長
有識者	野中 昌	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長
有識者	増田 義孝	航空貨物研修センター 代表
有識者	松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長

有識者	長 加奈子	福岡大学 准教授
有識者	加藤 博志	九州B.M.C. 会長
高校	甲斐 直樹	福岡県立稲築志耕館高等学校 校長
地域住民	浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長
卒業生	堀部 豊和	平成23年度 トラベルビジネス科 卒業
卒業生	高島 妙美	平成21年度 ホテルリゾート科 卒業

※区分別、敬称略

## 4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成30年 6月 20日 (水) 14:30 ~ 15:50

場 所：麻生塾福岡キャンパス 8号館 8階 881教室

## 5. 学校関係者評価方法

平成29年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

### ※参考 自己点検・評価における達成度の評定

- S：達成度が高い
- A：ほぼ達成している
- B：達成しているがやや不十分
- C：達成は不十分で改善を要する (不適合)

## Ⅱ. 学校関係者評価内容

### 基準 1 理念・目的

#### 基準1 総括

建学の精神・法人の理念・教育方針等は明文化し教職員・学生に周知すると共に、ステークホルダーにもホームページやパンフレット等を通じて公表している。

また学科ごとに教育目的・育人人材像を定めており、学生便覧に掲載し学生へ周知している。実現するための具体的な授業計画、方法をカリキュラムやシラバスをして定め、同様に周知している。職業実践専門課程における各会議にて企業等からのニーズを聞き取りながら、内容の見直しも毎年行っている。ホームページやパンフレットを通じ、社会にも公表している。

#### 見つかった課題

学校法人としての教育理念に基づいて、教育目標等を掲げている。今後、教育理念は定期的に見直しが必要である。

#### 改善策又は改善の方向性

定期的な見直し。

■学校関係者評価結果： 適正

#### 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・素晴らしい理念だと思う。
- ・学校の教育理念は、統一された全員の認識が重要となるため、より刷り込みが必要と感じる。
- ・学生、職員、社外向けに適切な資料、ツールが用意され、その内容も充実していた。
- ・ホームページでの公表を新しいものにする更新のタイミングも必要である。

#### 中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

#### ■中項目総括

全て明文化し、学生には「学生便覧」、教職員には「ルールブック」、非常勤には講師会時に配布資料にて共有している。また各ステークホルダーには、ホームページ・パンフレット・オープンキャンパス等にて公表している。

#### 小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教

員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

#### ■コメント

学生には学生便覧を配布し、新入生オリエンテーションにて説明する機会を設けている。教職員には「ルールブック」を配布し、新入社員には入社時教育にて説明している。またホームページ、学校紹介パンフレット等にて社会へ公表している。

#### 小項目 1-1-2

「学校の教育理念」は明文化し、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生としてふさわしい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果： B

#### ■コメント

教育理念については、教職員、学生と共有している。今後は学校として教育理念を見直し、周知を図っていく。

#### 小項目 1-1-3

「学校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。「学校の教育理念」は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： B

#### ■コメント

今後は様々な環境の変化に対応し学校としての教育理念の構築を進めていく。

#### 小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育人人材像は、「法人の理念」および「学校の教育理念」から導き出されたものになっているか。またそれらを文書化し社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

#### ■コメント

教育目的・育人人材像は、「法人理念」「学校理念」より導き出されおり、学生便覧へ明記し学生へ周知している。職業実践専門課程の「教育課程編成委員会」での意見も踏まえ、毎年見直しができる体制を整えている。

#### 小項目 1-1-5

教育課程(カリキュラム表など)を文書化し、学生に提示し、学生は内容を理解しているか。またそれらを社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

#### ■コメント

カリキュラム表は文書化し、学生便覧によって学生に提示するとともに、ホームページ、学校紹介パンフレット等にて社会へ公表している。

### 基準 2 教育の内容

**基準 2 総括**

職業実践専門課程に関する取り組みにより、教育目標や人材育成像の達成に向けて、毎年、企業・業界ニーズを反映したカリキュラム作成を実施し、教職員間での内容共有を行いながら、学生へ教育を行っている。特に企業実習(インターンシップ)は全ての学科にて実施しており、効果的な専門教育・職業観醸成の機会となっている。

また、教育の根源となる教員を育成するため、授業アンケート・教師アンケートを実施し、客観的な評価を行うと共に、フィードバックを行い、必要に応じた研修を行いスキルの向上を図っている。

日本語科のカリキュラム作成においては、留学生のレベルやニーズなどの現状を反映するため、募集担当者とも容易に情報交換できる環境にある。授業評価は授業アンケートを実施し、結果を担当教員にフィードバックすることにより授業改善を目指している。

**見つかった課題**

学校として計画的な教員研修・勉強会は実施しているが、教員の専門性における内容について、更なる維持・向上のための研修・勉強会を引き続き実施する必要がある。

日本語科において、入学後の学生については、補講が必要な場合は適宜実施をしているが、入学予定者の基礎学力や日本語能力を把握する手段を再整備し、事前教育を行う必要がある。

**改善策又は改善の方向性**

教員の専門性における内容について、更なる維持・向上のために、計画的な研修・勉強会の実施を行う。

入学予定者に対する事前教育がスタートしているので今後効果測定を行い改善していく。

日本語科に関して、日本語の既習暦が十分でない入学者については、最低限ひらがな・カタカナの練習と「みんなの日本語初級Ⅰ」の1課～4課までの内容について、予習の強化を図っていく。

■学校関係者評価結果： 適正

**学校関係者評価 評価者のご意見**

・改善の必要な箇所があるとのこと、組織的に取り組んでいくとのこと、期待する。

・検定・資格の活用状況を高校生に知らせたい。また個々の資格取得を業界がどのように評価・活用しているか知りたい。

・GCB教育が素晴らしいと感じた。

・教育方針の骨格となる基盤がしっかり構成されていた。また、教育向上の施策充実から、質の向上に対する見直しや改善が、長年にわたり取り組まれたことが伺えた。

・授業改善のための取り組みに関する委員会などの早期立ち上げの必要がある。

・学生の授業内容に対する客観的評価は重要であり、今後も継続願いたい。学生の声に新しいメニューのヒントがあるかもしれない。

**中項目 2-1**

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

各学科の教育目標・育成人材像を達成するため、カリキュラムは企業を含めた外部関係者、教員及び広報・就職担当者を含めて、毎年検討・見直しを行い作成している。

**小項目 2-1-1**

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)として、卒業認定のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するか等の基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

学生の学修成果を向上させ、専門的な知識・技術を持った人材育成のため、カリキュラムポリシーの更なる検証・周知・徹底を行う。

**小項目 2-1-2**

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

職業実践専門課程における「教育課程編成委員会」、就職グループによる日々の企業訪問、教員による企業巡回により、企業の人材ニーズを吸い上げ毎年、カリキュラムに反映させている。常勤・非常勤ともに内容を共有・理解している。また、ホームページに各学科カリキュラムを掲載公表している。

**小項目 2-1-3**

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバスを作成しているか。シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

カリキュラム及びシラバス(コマシラバス)は修業年限分作成し、文書化している。学内サーバーに保管し教職員で共有している。また、シラバスは授業開始前に配布・説明し、各授業の内容・達成目標を周知させている。

**小項目 2-1-4**

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、カリキュラム改善のために意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教育課程編成委員会では各業界の企業・有識者に参加してもらうと共に、学校関係者評価委員会には高校教員、地域住民の代表、卒業生も参加してもらい企業だけではなく、多方面から育成する人材やカリキュラムについて意見を頂いている。カリキュラム検討会議では広報スタッフ・就職スタッフも参加し各ニーズを取り入れ、求められる人材が育成できるカリキュラムを提供できるようにしている。

**小項目 2-1-5**

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果：  A

■コメント

毎年、各学科にてカリキュラム内容を検証・見直した上で、各学科教員が参加するカリキュラム検討会議にて内容を共有・検証をしている。また、共有サーバーに各学科カリキュラムを保存し、教職員が共有し、教科間の整合性を確認できるようにしている。コマシラバスは、非常勤担当において学内での共有の徹底を図っていく。

中項目 2-2

教育方法は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：  適合

■自己点検・評価結果：  S

■中項目総括

シラバスやコマシラバスを作成、配布し、授業内容を学生にしっかり理解させながら授業を運営している。評価についても客観的かつ厳格に行っている。

小項目 2-2-6

授業方法は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

ロールプレイングやディベート、校外実習、コンテストなどを取り入れ、幅広い授業内容を展開している。

小項目 2-2-7

コマシラバスを作成し、授業の中で概略と到達点を学生に周知しているか。シラバス・コマシラバスに基づいて授業を展開しているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

シラバスを作成し授業の初回で学生に配布することで、内容理解ができています。授業も作成したコマシラバスに沿って展開されている。

小項目 2-2-8

学習の評価は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

シラバスや学生便覧で評価基準を明示し、期末試験や授業内試験等の実施により客観的に評価を行っている。

中項目 2-3

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：  適合

■自己点検・評価結果：  A

■中項目総括

授業アンケート、教師アンケートを実施し客観的評価を得るようにしている。また麻生塾として教員育成研修も計画的に実施している。今後は教員の専門性における内容について、更なる維持・向上のための研修・勉強会を引き続き実施する必要がある。

小項目 2-3-9

学生による授業評価を定期的に行なっているか。評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果：  A

■コメント

授業ミニアンケート、教師アンケートを年2回実施している。その評価を元に主任・副主任または校長代行によるフィードバック面談を実施している。必要に応じて授業見学・研修を実施している。授業見学・指導結果は文書にて記録を残している。

小項目 2-3-10

学生による授業評価以外で、授業改善のための取り組みを組織的、計画的に行なっているか。(授業改善委員会、FD等、名称問わず)

■自己点検・評価結果：  B

■コメント

新任教員には授業見学等を行い適宜アドバイスしている。しかし、同科目担当教員による勉強会が不足しており、改善の必要がある。実施内容・時期等に関する年間計画を作成し、組織的に取り組んでいく。

小項目 2-3-11

教員の専門性や指導力等の維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果：  A

■コメント

教員の指導力強化のための研修を計画的に実施している。また、各業界主催の勉強会にも参加し専門性をブラッシュアップしている。学校として各教員の育成目標を元に研修および支援を強化して行く。

## 中項目 2-4

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

## ■中項目総括

入学前のリメディアル教育に課題はあるが、入学後の企業実習(インターンシップ)や、GCB 教育を通じ、業界ニーズに対応した教育が実施できている。

## 小項目 2-4-12

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

## ■コメント

全学科で企業実習(インターンシップ)を実施し、単位認定している。実施にあたり、学生にとって効果的な学習機会となる様、企業と安全面も含め綿密に打ち合わせを行っている。実習終了後は企業より評価をもらい、参加学生へフィードバックを行っている。

## 小項目 2-4-13

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： S

## ■コメント

麻生オリジナルの GCB(グローバルシチズンベーシック)教育を全学科にてカリキュラムの一貫として実施している。担任が科目担当となり、評価も行っている。また、教員には定期的に指導研修が行われている。

## 小項目 2-4-14

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

## ■コメント

客観的な教育効果の測定を計るために、入学予定者に対し、全体に e-learning である ASO ドリルを課題として与えている。

### 基準 3 教育の実施体制

## 基準 3 総括

教育目標、人材育成像を達成するための教育体制を人材面、設備面、安全面にて整えている。

専門技術・知識習得にあたり、必要な教員確保を行っており、常勤講師・非常勤講師の情報共有をしっかりと行いながら、学生指導にあっている。

本校では実践教育が重要であるため、企業との連携により企業実習(インターンシップ)を実施しているが、教育的効果を上げる為に企業と打ち合わせを行い、安全面でも十分に配慮した内容となっている。

就職支援においては、キャリアサポートセンターを設置し、学生が必要な情報を取得でき、いつでも相談ができる体制を整えている。

分煙・エコ活動・学内の整理整頓清掃等の教育環境の整備については、規定やルールを定め学生便覧に文書化し、および教室内に掲示し周知徹底を図っている。

教育設備に関しても、事業戦略グループと学校にて管理担当を分け管理している。法令の則った定期点検を実施し、必要に応じて補修・修繕をおこない、学生が安全に利用できる環境を作っている。

## 見つかった課題

総合図書館があり、業界関連書籍等を設置しているが、専門書の数量を増やしていくことが今後の課題である。

## 改善策又は改善の方向性

業界関連書籍等の専門書の数量を増やしていく。

■学校関係者評価結果： 適正

## 学校関係者評価 評価者のご意見

・総合図書館での各業界における専門書の充実と共に、各業界で実際に使用する器材、備品関連の配置状況は充実することで有意義な実習につながると推察する。

## 中項目 3-1

専修学校設置基準その他法令を遵守しているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

## ■中項目総括

教員や施設など法令に定められている基準を満たして運営を行っているが、非常勤講師の履歴書については、整備を進めていく。

## 小項目 3-1-1

教員は法令が定めた教員要件を満たし、必要な人員を適切に配置しているか。

■自己点検・評価結果： A

## ■コメント

必要な専門性を教育できる人材を確保し、適切に配置をしている。また、非常勤講師との情報共有も出来ており、教育目標・育成人材像を達成する体制を整えている。

## 小項目 3-1-2

校地・校舎・講義室・実習室等の面積は、設置基準その他法令の基準を満たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教室、実習室等、設置基準、法令の定めに基づき十分な施設が設置されている。

## 中項目 3-2

教育の実施体制を整備しているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

各分野に応じた実習施設を整えており、定期的に整備・修繕を行っている。また、キャリアサポートセンターや総合図書館も設置し、学生が用途に応じた活用ができる様に環境を整えている。

## 小項目 3-2-3

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生数に応じて十分な教員を配置している。また主要科目については、専任教員を配置している。教員1人あたりのコマ数も適切に割り当てており、専門分野バランスも偏りのない様にしている。但し、年齢構成について、適切な指標がなく評価ができない。

## 小項目 3-2-4

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

講師会(年1回)を実施し、授業運営・学生指導等に関するベクトル合わせを実施している。また、非常勤担当科目報告書により授業内容を共有すると共に、適宜個別に情報交換を実施している。

## 中項目 3-3

教育環境を整備・活用しているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

各分野に応じた実習施設を整えており、定期的に整備・修繕を行っている。また、キャリアサポートセンターや総合図書館も設置し、学生が用途に応じた活用ができる様に環境を整えている。

## 小項目 3-3-5

実習で使用する学校設備機器、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

資産管理すべき備品・教具の管理簿を整備しているが、それ以外のもので一部管理できていないものもある。また、主要設備・器具は定期的に点検し、必要に応じて修繕を行っている。建物・設備に関しては事業戦略グループが、教具等は学校にて担当を分けて管理している。

## 小項目 3-3-6

学内外実習時の安全対策を立案・文書化し、十分な対策を取っているか。対象となる学生にはそれらを十分理解させたいので実習に参加させているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学外実習においては、受入れ企業と安全面も含めた打ち合わせを十分に行い覚書も交わしている。参加学生には、事前教育を行い安全面への意識を持たせると共に、インターンシップ保険に加入させている。また実習時には教職員も巡回を行い、安全に実習が行われているか確認をしている。

## 小項目 3-3-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

法規で定められた定期的な設備点検を実施し、改善指摘分を改善している。警備システムも適切に運用されている。

## 小項目 3-3-8

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

キャリアサポートセンターが設置されており、就職指導担当者が常駐し、学生支援にあたっている。また、学生は就職に関する情報(求人票・パンフレット・受験報告書等)を閲覧でき、適宜、就職活動に関する相談をすることができる。

## 小項目 3-3-9

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果：  A

■コメント

総合図書館があり、業界関連書籍等を設置している。蔵書数を増やしていくことが今後の課題である。

## 基準 4 教育目標の達成度

### 基準 4 総括

年度開始前に麻生塾としての教育目標及び前年度の結果・評価を基として事業計画を立案し、承認を受けた上で全教職員と共有をしている。

教科、資格・検定、就職、退学防止に向けた指導については、毎月、各学科会議及び教職員全体会議にて状況を確認しており、改善に向けた取り組み事例も共有をしている。また、それぞれのデータは麻生塾システムにて管理しており、全教職員が情報を共有できるようになっている。

各数値については、ホームページやパンフレット、またオープンキャンパス・保護者会等で公表している。

### 見つかった課題

特になし

### 改善策又は改善の方向性

特になし

■学校関係者評価結果：  適 正

### 学校関係者評価 評価者のご意見

・評価対象は「評価・公表」なので適合だと思われる。

### 中項目 4-1

各学科の教育目的に向けた達成度および成果を評価・公表しているか。

■学校関係者評価結果：  適 合

■自己点検・評価結果：  S

■中項目総括

教育目標・育成人材像の達成に向け、教科、資格・検定、就職、卒業率等の目標を設定し、全教職員で共有している。進捗状況を毎月確認すると共に、指導についての振り返りも行っている。結果はホームページやパンフレットを通して公表している。

### 小項目 4-1-1

ディプロマ・ポリシー(卒業認定の基本方針)として、どのような力を身に付けた者に卒業を認定するか基本的な方針を定め

ているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

学生便覧に各学科における学生が身に着けるべき資質や能力を示している。また、シラバスやコマシラバスに各授業での達成目標を明記している。

### 小項目 4-1-2

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

事業計画書(キックオフ資料)に進級、卒業率、及び検定等の目標数値を設定記載し、全教職員が共有している。進捗については各学科での月例会議・クラス運営報告書にて管理している。

### 小項目 4-1-3

いわゆる「養成校」の国家資格試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

事業計画書に進級、卒業率、及び検定等の目標数値を設定記載し、全教職員が共有している。進捗については各学科での月例会議・クラス運営報告書にて管理している。

### 小項目 4-1-4

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果：  A

■コメント

主要検定・コンペについては事業計画書にて目標設定・共有をしている。検定・コンペ終了後、検定結果報告書・振り返りシートを作成し、検証を行っている。検定結果はパンフレットに記載しているが、全ての検定結果が公表できている訳ではない。

### 小項目 4-1-5

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

事業計画書にて、就職関連の数値目標(進路決定率・就職率・業界内定率等)を設定し、全教職員で共有している。就職指導スケジュールを立案し学生に提示している。受験記録は麻生塾システムで管理しており、就職試験の結果は、校内統一の報告書にて記録・保存をしている。合格・不合格理由については、出来る限り就職グループ職員が企業へヒアリ



ングを行い、フィードバックをして次の就職試験に向けた指導材料としている。また就職に関する数値はホームページ及びパンフレットに公表している。

#### 小項目 4-1-6

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

事業計画書にて卒業率に関する目標を設定し、全教職員で共有している。退学防止のための指導状況については、学科会議及び教職員会議にて共有し、各クラスの指導に役立てている。退学者数はホームページにて公表している。

### 基準 5 学生支援

#### 基準 5 総括

入学から卒業まで担任を軸として、学校全体で組織的に学生を支援する体制を整えている。

学生の健康管理・メンタルヘルスに関しては、校医・専門カウンセラーを配置している。就職支援ではキャリアサポートセンターに専門相談員を設置し、合わせて就職スタッフによる求人票獲得、校内企業セミナー・選考会誘致など、希望する就職ができるよう支援を行っている。

また本校では担任制度を敷き、定期的な面談だけでなく、状況に応じたガイダンスを実施し、学生状況を細かく確認し、各部署と共有している。保護者とも連携を密にしており、電話連絡、三者面談など行っている他、保護者会も実施し、学校の取り組みや就職活動に向けた情報共有を行っている。

卒業後も、校友会組織を作り再就職の斡旋や、キャリアアップ研修の実施、同窓会の開催などサポートを行っている。

#### 見つかった課題

学生の多様化が進む中、一人ひとりの状況に合わせた細かな支援体制を構築していくことが必要になっている。

#### 改善策又は改善の方向性

総合的な学生支援を行える体制を学校として整えていきたい。

■学校関係者評価結果： 適正

#### 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・留学生(日本語科・製菓パティシエ科)の授業参観してみたい。
- ・学生もグローバル化により、先の理念・目的や教育方針等の理解浸透、習熟度に応じた支援体制にご苦労されていることと察する。他部門との連携、サポート体制等、昨今柔軟な対応が求められていることを実感した。
- ・細部まで考えられ配慮されている。

#### 中項目 5-1

学生支援体制を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

担任を軸に各支援部門と協力体制を取りながら、入学から卒業時まで、学生の状況に応じた支援を行っている。各部門とも情報が共有を行うと共に、保護者とも連携をしながら支援を実施している。今後は、より細かな支援体制を整えることが課題。

#### 小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

前期・後期の定期担任面談を実施、また必要に応じて随時面談を実施している。学生の状況に応じて、学内の各窓口と協力して学生支援を行っている。面談実施後はガイダンス記録表に時系列に記載入力し、共有フォルダーにて共有・管理している。他部門と共有が必要な場合には、ガイダンス記録表と共に情報共有を行っている。

#### 小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談や面談を行ない、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

入学前、就職活動前には保護者会を開催している。また、必要に応じて三者面談も実施しており、その内容は時系列にガイダンス記録表を作成し、共有サーバーに保存している。保護者面談は状況に応じて、主任・副主任、校長代行も同席している。

#### 小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

キャリア・ディベロップメント・アドバイザーの資格を有する職員を配置し、担任と協力しながら、学生の就職指導を行っている。

#### 小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

健康管理、メンタルヘルス担当のカウンセラーを配置し、入学後のオリエンテーションで告知するなど、学生相談ができる体制を整えている。学生には学生便覧等にて相談窓口について周知を行っている。

#### 小項目 5-1-5

ハラスメント防止に関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

ハラスメント相談窓口を設置している。学生には、学生便覧、教室内案内掲示物及び担任から案内を行い、周知を図っている。また、学内ではハラスメントに関する委員会を組織し、マニュアル・規程の整備や定期的な研修を実施している。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

経済的理由に対する修学支援として授業料免除制度、優秀学生に対する授業料免除制度を整備している。また、日本学生支援機構の奨学金制度、各自治体や各種団体等の奨学金制度についても情報を提供し、手続き支援も行っている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

留学生は担任と情報共有しながら、国際交流センターが生活面を、就職グループが就職面を支援している。社会人学生・障がいを持つ学生については、各学校と学生支援グループ、就職グループが情報共有し、協力して学生に必要な支援を実施している。一部の学科には社会人学生のため、教育訓練給付制度を設けて修学支援を行っている。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

教職員が顧問として課外活動を支援しており、部活動には年間予算をつけている。現在、規程を整備している。

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■学校関係者評価結果：  適合

■自己点検・評価結果：  S

■中項目総括

校友会活動を通して、再就職の斡旋や業務能力向上のための講座の開設など、卒業後のサポートも行っている。

小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、○年後(任意)の在籍状況を把握しているか。また、キャリア教育の成果を把握して、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

教務と就職部の協力体制のもと企業訪問や実習視察の際に卒業生の状況把握に努めている。また在籍調査アンケートを毎年実施している。情報については、麻生塾システムに反映させている。

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

必要に応じた職業紹介および講習や研修を校友会活動を通して行っており、再就職、キャリアアップに貢献できている。

基準 6 学生募集・受け入れ

基準 6 総括

学生募集ではアドミッションポリシーを募集要項やホームページにて明示し、学校・学科でどのような能力や意欲を持った学生を求めているか明らかにしている。これにより入学後のミスマッチをなくすよう努めている。また、選考方法、学費・教材費等明示すると共に、就職実績・資格取得実績についても正確に伝え、納得して入学をしてもらえるようにしている。

見つかった課題

入学希望者に更により理解しやすく伝えていく必要がある。

改善策又は改善の方向性

更に詳細な情報(学科毎の教材費等)や最新情報(就職、資格取得状況)を伝えられる様に、ホームページ等に掲載していく。

■学校関係者評価結果：  適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・パンフレット、ホームページを両立し、正確に伝えられている。希望学生たちにも詳しく知る材料として生きた資料となっている。

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：  適合

■自己点検・評価結果：  S

■中項目総括

学生募集は適正に行い、入学選考は公正・適切に実施している。

小項目 6-1-1

アドミッションポリシー(学生の受け入れ方針)を定め文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

学校の教育理念に基づいたアドミッションポリシーを文書化し、募集要項、ホームページに明示すると共に、オープンキャンパスにて説明をしている。また入学説明会の中で、あらためて内容を説明している。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果：  A

■コメント

営業担当者 15名、各県専属営業担当6名により、定期的な高校訪問を実施。進路ニーズの把握及び提案を行っている。  小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果：  A

■コメント

パンフレット、ホームページに掲載している。パンフレットはその性質上、最新情報が掲載できていない部分もあるが、ホームページにて最新情報を掲載するようにしている。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

パンフレット、ホームページに掲載しており、オープンキャンパス等にて学科毎に詳細を説明している。

小項目 6-1-5

募集要項等には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果：  A

■コメント

募集要項及びホ募集要項及びホームページに掲載している。金額は、競合校と比較しても大きな差異はなく、学校が目指す人材育成を達成するためには妥当な金額である。

小項目 6-1-6

募集要項等には入学者の選抜方法を明示し、選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果：  S

■コメント

選抜方法は募集要項及びホームページに掲載をしている。入学者選考は、選考基準に沿い適切に実施している。実施方法や選考方法は広報グループ・学生支援グループを中心とした会議にて毎年見直しを行っている。また、選考方法等は全体会にて共有している。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果：  A

■コメント

募集定員については、学科毎に見直しを行っている。

基準 7 社会的活動

基準 7 総括

学内にボランティア推進委員会を組織し、学校毎に特徴を活かしたボランティアを推進している。また、地域貢献への取組みとして中高生・大学生を対象とした職業観醸成のためのイベント「お仕事スタジアム」を多数の企業にも参加協力を頂き開催している。30年3月開催回では、九州・山口から約5500名に参加者をしてもらった。

見つかった課題

ボランティア活動、地域貢献活動は行っているが、今後は計画的な活動が必要である。

改善策又は改善の方向性

まずは学校主導で活動ができる基盤づくりを行い、数年後には学生による主体的な活動としていく。単位認定規程はあり、学校として積極的に進めていく。

■学校関係者評価結果：  適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・今年は東住吉校区社会福祉協議会主催の高齢者会食会に製菓パティシエ科の生徒が参加していただき感謝する。
- ・積極的な取り組みを今後展開される意思を感じた。訪日外国人への通訳ボランティアは素晴らしい取り組みである。
- ・お仕事スタジアムという毎年開催され知名度を上げている企画と、通訳ボランティアという新たな場面を作り出す「伝統と新たな社会活動」はとても進歩的である。
- ・各大学等と比較して、この部分は少し弱いと感じる。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

福岡市と協力して語学系通訳ボランティアを開始するようにしている。

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■コメント

福岡市と協力して語学系通訳ボランティアを開始するようにしている。

小項目 7-1-2

学校は教育資源を生かした地域住民参加の公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

麻生塾として主催している職業観醸成を目的としたイベント(お仕事スタジアム)は実施しているが、学校単体として公開講座等の地域貢献活動は行っていない。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

福岡市と協力して語学系通訳ボランティアを開始することで、地域、行政との連携を図っていく。

基準 8 管理運営・財務 (学校・グループ)

基準 8 総括

学校存続に重要なステークホルダーからの一層の信頼を得る為、コーポレートガバナンス体制強化と、コンプライアンス遵守徹底に取り組んでいる。法人としてコンプライアンスに関する社員教育を行い、またガバナンスを効かせる組織体制の見直しを毎年行っている。

また学校会計の原則に従い、適切な会計処理を行うと共に、監査ルールに則った監査を実施している。外部監査からの承認も受けており、学生たちに安心して学業を修めてもらう環境を整えている。

見つかった課題

非常時対策としての危機管理マニュアルの定期的見直し。

改善策又は改善の方向性

各種マニュアルの更新を定期的に行い、教職員で共有していく。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・防災については、「意識を持つ」意味でも必要である。今後とも訓練実施などお願いしたい。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

各種規程を作成し、その規程に沿って運営を行っている。また教職員で共有している。

小項目 8-1-1

各学校、各グループで運営会議(教務会議・グループ会議等)を定期的開催し、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

校長代行・主任・副主任による運営会議を毎週実施し、学校運営に関する課題発見・問題解決・運営確認を行っている。また必要に応じて臨時で会議は実施している。さらに毎月、全教職員による教務会議及び、各系による部門会議を行って各進捗管理、運営方法確認等を行っている。議事録を作成し共有もしている。

小項目 8-1-2

各学校および各グループの構成員全員の職務分掌(業務の内容および責任・権限)を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教職員に応じた職務を割り振っており、校務分掌・役割分担表として文書化し共有している。毎年見直しを行っており、教職員の経験・状況を考慮して職務を分担している。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果： A

## ■コメント

危機管理マニュアル文書化し設置しているが、見直しを定期的に行っていない部分は課題である。学生・教職員が参加した避難訓練を毎年実施している。

## 小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

## ■コメント

個人情報保護管理規定を文書化し共有している。学生等から個人情報を取得する際には、本校の取扱規程を明示し、適切に取り扱っている。

## 小項目 8-1-5

ハラスメント防止に関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

## ■コメント

ハラスメント規程があり教職員に会議にて周知している。学生便覧にもハラスメントに関する相談窓口を明記し、入学時オリエンテーションでも説明を行っている。法人としてもハラスメントに関する研修も実施している。

## 小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果： B

## ■コメント

支援グループが主催している募集・就職に関する研修には参加している。しかし、学校として計画を作成し、研修を実施できていない。

## 中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： S

## ■中項目総括

特になし

## 小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： S

## ■コメント

中期事業計画を作成し、それを基に毎年の事業計画及び年度予算を立案している。事業計画・年度予算は関連部門と共有している。

## 小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： S

## ■コメント

毎月実績を確認しており、予算に沿って適切に執行している。必要があれば関連部署と相談の上、見直しを行っている。

## 小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

## ■コメント

固定資産管理規程に基づき、管理・運用を行っている。台帳を作成し、年度末に棚卸しを行い確認・管理している。

## 小項目 8-2-10

図書(固定資産)を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

## ■コメント

総合図書館において、図書管理規程をもとに学校図書を管理、運営している。

=====

**基準 10 改革・改善・情報提供**

=====

## 基準 10 総括

自己点検・評価委員会が組織化されており、評価項目についても学校の実情に合わせ見直しを行いながら、点検を実施している。点検結果については、学校のホームページにて公開をしている。

## 見つかった課題

教職員への改革・改善についての理解・周知・徹底。

## 改善策又は改善の方向性

自己点検の意義を共有し、理解を深める機会を増やし、更に改善に努めていく。

■学校関係者評価結果： 適正

## 学校関係者評価 評価者のご意見

・平成 28 年度より自己点検。評価結果が良くなっている。改善されていることを評価する。

## 中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

自己点検・評価活動は実施できているが、全教職員への周知・徹底、改善への取り組みが必要である。

## 小項目 10-1-1

自己点検・評価の意義を全教職員に伝え、点検・評価活動の方法や評価基準を共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価結果は文書にて全教職員に回覧をしている。今後、教職員全員が改善につなげる意識向上と提案する場を設ける。

## 小項目 10-1-2

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価結果に基づき、改善計画を立て、改善に取り組んでいる。今後、教職員全体で取り組んでいくように意識改革を行っていく。

## 小項目 10-1-3

自己点検・評価報告書は、公開に際して外部の方にわかりやすいような表現にしたり、必要な解説を加えたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

職業実践専門課程の委員会では、学内で使用する用語等を説明し、外部の方にもわかりやすい表現で報告した。

## 中項目 10-2

公的な教育機関として、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供しているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

ホームページでの公開及び職業実践専門課程における会議にて説明を実施している。

## 小項目 10-2-6

法令およびガイドラインに従い積極的に情報提供の取り組みを行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ホームページにて情報公開をしている。

## 小項目 10-2-7

提供している情報はガイドラインに示された項目に沿ったものであるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

担当部門の指示の基に実施し、ホームページにも公開している。

## 小項目 10-2-8

情報提供は対象者に合わせて情報の内容や提供手段を工夫し、わかりやすく効果的であるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

担当部門の指示のもとに情報提供の手段を工夫し実施している。